

## 5. 多摩ニュータウン再生基本戦略・取組メニュー（案）



# (1) 基本戦略

- 多摩ニュータウンが目指す都市像・将来像を実現するためには、地域の活力を高め、多様な人々に住み・働く場として選択されるまちづくりを進めていかなければならない。
- そのためには、快適な居住環境の更なる充実、海外や日本各地との連携・交流、新たなイノベーションの創出によるグローバルな事業展開、職住近接の自立都市圏の形成、スマートエネルギー都市の形成、自然災害への的確な対応による安全・安心な都市の形成が必要である。
- そこで2040年代の多摩ニュータウンのまちづくりに向け、「インフラ」「産業」「生活」「環境」「防災」について、長期的な観点から次のとおり基本戦略を示す。

## 基本戦略

### インフラ

産業や暮らしを支える広域交通ネットワークを強化し、良質な都市基盤や空間を活かす。

### 産業

世界に挑戦する付加価値の高い産業の集積に資するため、挑戦を支える環境、仕組みを整える。

### 生活

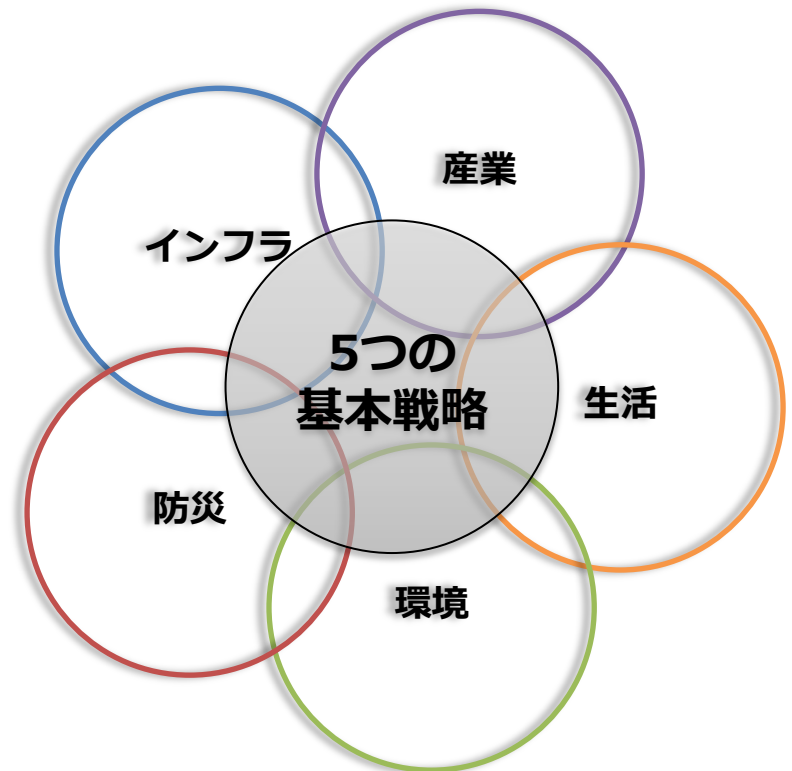
ライフステージに応じて住み続けられるよう、魅力的な居住環境の形成・充実を図る。

### 環境

多様で洗練された暮らしのため、緑や自然、環境技術を積極的に取り込む。

### 防災

地域の力を強化し、大規模災害にも十分に備える。



# (2) 取組メニュー

- 2040年代の多摩ニュータウンが目指すべき都市像を実現するためには、再生の理念のもと、5つの基本戦略に係る取組を着実に進めていくことが重要である。以下に、各基本戦略の取組メニューを示す。
- 道路や住環境のストックを実証フィールドとして活用し、地域の課題を解決するための実験的な取組を展開する。

## 取組メニュー

※ \_\_\_\_\_ : 多摩ニュータウンを実証フィールドとした実験的取組

### インフラ

#### 【ネットワーク】

- ①南多摩尾根幹線道路の早期整備
- ②公共交通ネットワークの形成
- ③**中規模公共交通機関の導入検討**

#### 【維持管理】

- ④高質なストックを長く使い続けられる効率的維持管理
- ⑤**先端技術を活用したインフラの保守・維持管理**
- ⑥多摩ニュータウンの大きな魅力である街路樹の適切な維持管理
- ⑦公園緑地の適切な維持管理
- ⑧インフラの維持管理への住民参加

#### 【ストック活用】

- ⑨**多様なモビリティの共存に向けた道路空間の再配分**
- ⑩バリアフリー化による快適な歩行者空間の確保
- ⑪公共空間を活用するエリアマネジメントの仕組みづくり
- ⑫公有地の利活用

### 産業

- ①イノベーション創出に資する業務機能の誘導
- ②**革新的なビジネスを生み出す環境の整備促進**
- ③イノベーション創出のための実証フィールドの提供

- ④留学生や技術者の住環境や交流の場の整備
- ⑤効率的な宅配ネットワークの構築
- ⑥施設等の更新時期を迎える企業等の支援策の拡充

### 生活

#### 【生活基盤の再生】

- ①**時代のニーズに即した都市機能の再配置**
- ②柔軟で複合的な土地利用への誘導

#### 【生活支援機能の再生】

- ⑦地域包括ケアシステムの構築とまちづくりの連携促進
- ⑧介護などの訪問サービスのための駐車スペース確保の推進
- ⑨多言語対応の宿泊施設や医療機関の整備

#### 【最新技術の活用】

- ⑮**自動運転の実現に向けた検討**
- ⑯**最先端の無人航空機の活用**

#### 【住宅地及び住宅の再生】

- ③公的賃貸住宅団地の再生
- ④分譲住宅団地の再生
- ⑤住宅のバリアフリー化等の促進
- ⑥戸建住宅地における空き地・空き家の活用促進

#### 【市民生活・コミュニティの再生】

- ⑩子育て世代などへの生活サービスの充実検討
- ⑪世代間交流や地域コミュニティ活動の活性化
- ⑫多摩ニュータウン内で住み替えしやすい仕組みの構築
- ⑬近居・同居の仕組みづくり
- ⑭アートを活かしたまちづくり

### 環境

- ①スマートエネルギー都市の実現に向けたまちづくり
- ②再生可能・未利用エネルギーの利用
- ③**水素を活用した環境にやさしい都市づくりの実現**

- ④建物単体の省エネルギー性能等の向上
- ⑤団地内低未利用地の「農」の場などとしての活用

### 防災

- ①自助・共助による防災まちづくり
- ②無電柱化の促進
- ③耐震化の促進

- ④帰宅困難者等の受入環境の整備
- ⑤大規模災害時に備えた機能の向上
- ⑥**最新技術を活用した防災対策**

目指すべき都市像・生活像の実現